

平成29年度 生協会計学習会実施報告

平成29年9月26日(火) 午前10時から午後4時まで
日本特殊陶業市民会館 3階第1会議室

経理担当者に必要な会計処理知識と、生協の実際の数値を使って貸借対照表、損益計算書等を読み取る知識・技能を修得しました。また、経営分析の基礎、決算関係書類の見方を学び、グループに分かれて収益性・安全性・生産性の分析を食品スーパーと生協を比較しながらケーススタディとして行いました。

参加者 47名(17生協41名、行政1名、事務局5名)
コープあいち1名、あいち3名、一宮1名、生活クラブ1名、トヨタ2名、かりや愛知中央2名、トヨタ車体1名、愛知県職員1名、愛知県警察職員2名、南医療1名、名古屋市民火災共済1名、アイチョイス3名、愛知教育大学1名、大学生協東海事業連合17名、中部電力2名、住友ゴム工業名古屋1名、県民共済1名

＜講義 I＞決算関係書類の作成上の留意点

日本生活協同組合連合会 総合運営本部
法規会計支援部 石川智己氏

- (1)改正生協法および同法施行規則における会計制度の特徴について
- (2)決算関係書類等の作成上の留意点(実務編)について



＜講義Ⅱ＞経営分析の基礎

日本生活協同組合連合会 総合運営本部
法規会計支援部 横田和彦氏

- (1)決算関係書類の見方、経営分析について
- (2)収益性・安全性・生産性の分析について
- (3)ワーキンググループによるケーススタディ



▼ケーススタディ

決算関係書類の事例をもとに経営状況分析演習

(食品スーパーと生協を比較)

グループに分かれて決算概況を分析、2グループの代表者が報告

